

## 《議事録要旨》

### ①七ぶらシネマ通り繁栄会からの提案

#### ○静岡市水の科学歴史館構想に向けて（岡島）

- ・七ぶらシネマ通り繁栄会は映画館跡地に静岡市上下水道局を整備することを新しいまちづくりの好機と捉えている。そこで新たに賑わいを創出する中核施設として、近年需要が大きくなってきている水をテーマとした水の科学歴史館構想を提案したい。

#### ○構想概要

- ・青葉地区を中心に周辺地区が静岡市の新しい賑わいの拠点としての機能を担うために、上下水道局の新施設内に静岡の水や水道の歴史について学び触れ、遊ぶ機能を中核となる施設を創設する。新施設は貴重な水・資源の重要性を学び・触れ・遊ぶために重要な中核施設として捉え、常盤公園の噴水や駿府城下町の水路、歴史街の場所等水に関する地域の既存の資源との連携を図り、総合的な水の地域ミュージアムを創設する。

#### ○構想概要

- ・生命にとってかけがえのない水をテーマに、静岡市民の共有財産である安倍川・藁科川・城下町の水道施設等の都市発展と共に整備されてきた駿府の水の歴史を後世に守り伝え、未来を担う子供達に私たちの生活に欠かせない水と、水道の関わりについて理解を深め、よりよい都市環境・豊かな水文化・自然・環境等を守るために体験学習のための社会教育拠点と水の文化歴史の発信基地とする。静岡市内、とりわけ青葉地区周辺の地域資源を再評価し、広く連携を図ることにより魅力ある地域ミュージアム・エコツアーを実現する。

#### ○構想概要

- ・静岡市内だけでなく、周辺市町村や県外からの集客を図る。平日は小学生・中学生の社会科教育の一環として、地域教育の施設として利用する。祝日は家族でも楽しめるような、ファミリー向け総合ミュージアムとして活用する。

#### ○水の科学館

- ・静岡市水の科学歴史館を構想するにあたって、東京都の水の科学館と東京都水道歴史館への見学を行った。去年のリニューアルオープンから年間20万人以上の来場者がある。また運営方法に関心を持つべき点が多く、運営は3年間の期限付きで、運営者をコンペで決定するという手法をとっている。同様の施設が神戸の六甲にあり、熊本でも現在建設中である。そのような他地域の科学館と運営について連携をとり、話合うことができると考えられる。

#### ○エコツアーに関して（萩原）

- ・安倍川の治水や歴史の再認識として水に関係したツアーを開催してみたいと考えている。

## ②意見交換・とりまとめ

### ○七間町映画館跡地周辺地区まちづくりガイドラインに対する考え、意見等

(久保)

- ・神保町の例にあるとおり、これからのまちづくりでは、外からやってくる大きな施設に頼るのではなく、地元の個々の店がどれだけ頑張り、魅力をつけるかが大切であるとする。

(吉田)

- ・ディベロッパーの立場から現実的な話をすれば、テナントを入れるのは厳しい状況と感じている。また、地価も高く、1、2階を映画館と同じような使い方をするのは難しいと考えている。
- ・商店街のことは、商店街のプロの方々が集まっているので、あまり口をはさむべきではないと考えているが、皆さんと同じような方向性を持っていると思っている。
- ・皆さんの意見をどれだけ集約しながらハードに反映していけるかを社内で検討し、考えていきたいと思う。

(牧野)

- ・国道 362 号が街を分断している要因となっているので、鉄道なりバス路線なりを改編し、国道 362 号を跨ぐ一体化を検討することが望ましい。
- ・また、30~40 代のこれからを担う若者の声も聞いていかなければならないと感じている。

(北村)

- ・論点を絞らないと。ガイドライン P.9 の「地域の関係者が、継続的なまちづくりの体制を持っている」ということが一番大事。
- ・映画館跡地を中心としたエリアに、どういう街を創ろうか、「映画の街」を残しつつ、このエリアで、どういう住み方をして、どういう遊び方をして、どういう人に住んでもらいたいのかというのは、コンペなどで十分資料が整っている。もう、それらを落とし込んでいく段階まできている。そのための体制を早く作ることが必要。
- ・なお、個店の努力も大切であるが、これらの集合体であるエリアの価値を高めることが重要。

(小股)

- ・ガイドラインの中で重要なのは「地域の将来像」と「検討の体制」と考えている。
- ・体制については、現在の組織の発展が期待できる。一方、エリアの方向性がぼやけているようにも思う。「カルチャーコンプレックス」のような、明快な方針が必要と思う。

(柴山)

- ・ヨシコンさんや七ぶらシネマ通り繁栄会さんが今までどのような議論をしていたのか、話を伺いたい。

(岡島)

- ・七ぶらシネマ通り繁栄会の会合を今まで3回行ってきたが、ほとんど水をテーマとした構想関係の話をしている。

(柴山)

- ・七ぶらシネマ通りと三丁目等との繋がりといった、地域を面で捉える考え方が重要であり、七ぶらエリアの脇の通りも大事だと認識しているが、水道局としてどのような考えを持っているのか。

(野田)

- ・がちがちの事務所ではなく、色々な人が出入りできるコミュニティの場を作ってほしいと考えている。
- ・エリアとして考えるのであれば、青葉通りや常盤公園までを視野に入れて検討すべきである。
- ・小さい輪が多くある中の大きい輪としてこの会議で議論ができれば、もう少しまとまりのいい会議になるのではないのか。

(川口)

- ・上下水道局というのは市民の皆さんからいただいた水道料金から成り立っていると同時に、行政側の使い勝手というのはそれ相応に行政としての制約があるということを理解していただきたい。
- ・ただし、地元からの熱い思いがあることは感じているので、跡地利用に関する提案を頂く中で、どのようなものが実現可能であるかを皆さんと詰めていきたい。

(三沢)

- ・既に議会便りに10階建てという考えが出ているので、そろそろ構想や鳥瞰図等のイメージ等を示してほしい。
- ・建築物だけでなく、緑の空間も確保して欲しい。

(川口)

- ・「くらしと水」という広報誌に概要を掲示しているが、一番の目的は「市民の安全安心の確保」であると考えている。
- ・ただし、詳細はこれから検討するので、水や緑といった、具体の提案は我々に寄せていただきたい。

○遠藤先生

- ・こういったパブリックなところで建物デザインの話はできないのではないのかと思う。パブリックなところに形の話を出すためには、内部である程度話を固めてこなければならぬが、住民側も決められた形を持ってこられても困るので、こういった形にするかという話は事務局がやり方や方針を考えるべき。決まるまえの段階で、地元と地権者が、公共的な施設も民間の施設に対しても、形を話し合える場・機会が作られるとよい。
- ・街のテーマについては、水か映画化ではなく、これらを重ねて考えればよい。
- ・水をテーマにするのであれば、「緑も含めた循環型の町」を考えることもでき、それを得意とするNPOや市民を巻き込んで作っていけるような仕組みが必要であるだろう。そういった仕組みがあるときに、水のインフォメーションやエコツーリズムの立ち寄る場になっているなどのシナリオになるとよい。いきなり施設を創る話では難しいので、どうやったら広いエリアで循環型の街づくりができるのか、そのためには官民ではどんなことができるか、そのときに七間町は何ができるか、それをシナリオの中で考えられるといい。

- ・エリアの魅力を高めるには個店の努力が欠かせないが、重要なのは、街や個人店舗が努力したいまちとはどんなものなのかということ。例えば個人店舗が目立つ照明や町並みにする、まちのガイドラインに沿ったデザインにすると助成金ができる等、どうやったら個人店舗が目立つのかを考えることもまちづくりの切り口であるかもしれない。メリットがある仕組みがあると、個人店舗が努力したいまちに繋がる。
- ・新しい店舗に進出してほしいということであれば、例えば、表通りではなく裏通りで、異なる通りの性格付けなどの戦略を行っていくことが重要。
- ・映画に繋がっていくようなテーマ立てにするには、映画というものを無くすのではなく、映画を切り口にしたまちづくりを点から広がっていくようなシナリオで考えることができるといい。点となってくれる人を呼んできて、その人たちの場所を提供する。
- ・この研究会は意見を調整する場ではなく、意見交換を通してお互いが繋がっていけるような場であるといいと思う。

#### (小股)

- ・ガイドラインでエリアの将来像をわかりやすい形の中で整理していく必要があると思う。空間作りの方針は、具体的内容が必要と感じており、将来像にも関連するので充実させていけたらと思う。

#### ○事務局

- ・パブリックで全てを話すことは難しいので、次回までに体制を考え検討していきたい。
- ・七ぶらエリアの将来像やテーマについては、パブリックな場で皆さんと話すことができると考えている。
- ・実現手法 P.7 の交通システムに関しては、更に多くの人を交えて議論したい。

#### ○傍聴席からの意見・感想

- ・ヒューマンスケールで作るということを常に念頭に置きながら最後まで作ってほしい。ヨシコンさんには市民企業という責任と気持ちを最後まで持ち続けてほしい。
- ・アクセスとして LRT の検討を真剣に考えてほしい。
- ・スピーディに、かつ、様々な人が持つ意見を皆さんの前で明らかにしながら進めてほしい。
- ・この会議の前にもっと広く地域の声やアイデアを吸い上げてこの場で議論してもらえるともっと具体的な案が出るのではないのか。街の回遊のためには街の中心に文化の拠点が必要と考えているが、このような議論ができる場がほしい。
- ・市内では人口減少と高齢化が進む危機的状況なので、七間町の計画は市内の問題解決にも繋がっていくのではと考えている。まちづくりをする上で、理念やコンセプトを明確にすることが最も重要であると考えている。市の南西部にお手本になるような再開発・まちづくりにしてほしい。

### ③次回の日程・内容（事務局）

- ・ 次回は12月22日の午後三時半からを予定している。
- ・ 次回までに地域の組織でガイドラインについて話し合ってもらいたい。
- ・ 事務局では遠藤先生からご指摘いただいた交通整理の話を考えていきたい。
- ・ 何か意見や感想がある方は地域の町内会等の組織に参加していただくか、そうでなければ事務局の方直接伺うようにする。

## 第 2 回 七間町映画館跡地周辺地区のまちづくりに関する研究会 会 議 録

日時：平成 23 年 11 月 28 日 15：30～

場所：静岡庁舎本館 3 階 第 1 委員会室

### ◆出席者

分 野	所 属	役 職	氏 名
地元商店街組織	七ぶらシネマ通り繁栄会	会長	柳澤 良樹
地元商店街組織	七ぶらシネマ通り繁栄会		岡島 正躬
地元商店街組織	七ぶらシネマ通り繁栄会		萩原 康宏
地元商店街組織	七間町名店街	理事長	北村 正敏
地元町内会	七間町町内会	会長代行	久保 寅雄
地元町内会	七間町町内会		柴山 甲一
地元町内会	七間町町内会三丁目班	班長(代理)	野田 亨
地元町内会	人宿町二丁目町内会	会長	依田 直太郎
地元町内会	人宿町二丁目町内会		三沢 宏敏
地元まちづくり組織	七間町の明日を考える会	会長	牧野 隆
中心市街地関係	財団法人静岡市振興公社	常務理事	小股 芳太郎
オブザーバー(跡地関係)	静岡市上下水道局水道部水道総務課	課長	川口 明秀
オブザーバー(跡地関係)	ヨシコン株式会社	常務取締役	吉田 尚洋
専門家(公民連携)	東洋大学大学院	客員教授	(欠席)清水 義次
専門家(都市デザイン)	工学院大学	准教授	遠藤 新

事務局	静岡市都市局都市計画部都市計画課	課長	塚本 孝
	静岡市都市局都市計画部都市計画課	統括主幹	八木 清文
	静岡市都市局都市計画部都市計画課	主査	今川 俊一
	静岡市都市局都市計画部都市計画課	技師	油井 智史